令和 4 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1　地球温暖化対策事業者の概要

（1）事業者の類別

類別	（類別の説明） Ⅰ類　A事業所のみを有する特定事業者 Ⅱ類　B事業所を有する特定事業者（Ⅲ類の事業者を除く） Ⅲ類　C事業所を有する特定事業者 Ⅳ類　任意事業者
Ⅰ類	

（2）地球温暖化対策事業者

事業者名		坂戸、鶴ヶ島下水道組合	
所在地		埼玉県坂戸市千代田一丁目１番１６号	
事業者番号		2007	
燃料等使用量の原油換算の合計量（前年度）		2,116	kL／年
大規模小売店舗面積（単独で1,500KL未満で延床面積10,000㎡以上の事業所）			㎡
産業分類名（中分類）		36 水道業	
分類番号（中分類）		36	
事業活動の概要	事業内容	下水道事業　職員41名	
	区分	その他	
	前年度 資本金		百万円
	前年度 従業員数	41	人
商標又は商号（連鎖化事業者のみ）			

（３）県内に設置している事業所

（自動転記）

事業所種別	事業所番号	事 業 所 名	前年度の原油換算エネルギー使用量（ｋL）
Ａ、Ｂテナント等事業所			
Ａ	200700	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	2,116
Ｂ、Ｃ事業所			
合　　計			2,116

（４）公表方法

○	インターネット利用による公表	アドレス	http://www.stgesui.or.jp
○	事業所での備え置き（複数可。書ききれない場合は別様としてください）	閲覧場所１	坂戸、鶴ヶ島下水道組合
		所在地１	埼玉県坂戸市千代田一丁目１番１６号
		閲覧可能時間１	平日のみ（午前9：00～午後5：00）
		閲覧場所２	石井水処理センター
		所在地２	埼玉県坂戸市大字石井１３３６番地１
		閲覧可能時間２	平日のみ（午前9：00～午後5：00）
	その他		

（５）公表の担当部署

	名称（複数可）	連絡先	
		電話番号	E-mailアドレス※
1	総務課	049-283-2051	sakatsuru@stgesui.or.jp
2	維持管理課	049-283-1101	iji@stgesui.or.jp
3			

※　事業者のアドレスとする（個人が特定できるアドレスは記入しないこと）

２　地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

当組合が自らの事務事業に伴って排出する温室効果ガスの削減に率先して取り組むことで、地球温暖化対策の推進を図ります。

３　地球温暖化対策における事業者の推進体制

坂戸、鶴ヶ島下水道組合　管理者　石川　清
↓
地球温暖化対策推進委員会
↓
委員長（事務局長）地球温暖化対策推進者
↓
副委員長（次長、副参与、維持管理課長）
↓
推進責任者（課長級）
↓
推進員（職員等）

４　計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO_2換算（ｔ-CO_2）

	令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
エネルギー起源CO_2	4,282	4,291			
その他ガス	0	0			
温室効果ガスの合計	4,282	4,291	0	0	0

５　各事業所の計画

別紙　事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告　のとおり

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（Ａ、Ｂテナント等事業所用）　A事業所(1)

令和 4 年度

事業者番号	2007	事業所番号	200700

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1　事業所の概要

（1）事業所種別

事業所種別	
A	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)

(2)事業所及び事業内容

代表事業所名	坂戸、鶴ヶ島下水道組合		前年度における事業所	9
代表事業所所在地	市区町村	坂戸市		
	字・地番	千代田一丁目１番１６号		
当該事業所を含む事業所の名称（※Bテナント等の場合のみ記入）				
産業分類名（中分類）	36 水道業			
分類番号（中分類）	36			
事業活動の概要	下水道事業　職員41名 ・下水道組合　庁舎　・汚水処理施設２箇所 ・汚水中継ポンプ場２箇所　・雨水排水機場３箇所 ・流量調整槽１箇所			

2　事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

（1）第３計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度	
削減目標	エネルギー起源CO_2（必須）	基準となる排出量		t-CO2	基準となる原単位	0.3108	t-CO2/千㎥/年
		下水道組合庁舎については、当組合全体の温室効果ガス排出量の1%程度となることから、本削減目標については、「汚水処理施設」に関する削減目標を記載する。汚水処理施設については、平成16年度の原単位を基準（0.3108t-co2/千㎥）として、令和6年度末までに16.5%削減。					
	その他ガス						

(2)第4計画期間の削減目標

計画期間			年度	～		年度	
削減目標	エネルギー起源CO_2（必須）	基準となる排出量		t-CO2	基準となる原単位		
	その他ガス						

事業所リスト

番号	事業所名	所 在 地
1	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	坂戸市千代田一丁目１番１６号
2	石井水処理センター	坂戸市大字石井１３３６番地１
3	北坂戸水処理センター	坂戸市芦山町３４番地２
4	入西ポンプ場	坂戸市にっさい花みず木一丁目二番
5	鶴ヶ丘ポンプ場	鶴ヶ島市大字五味ヶ谷１１７番地６
6	浅羽野雨水排水機場	坂戸市中富町６２番地６
7	坂戸樋管排水機場	坂戸市伊豆の山町５２番地
8	大谷川雨水ポンプ場	坂戸市大字紺屋１６６８番地１
9	流量調整槽	坂戸市西坂戸二丁目１５６６番地７５
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※　入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本産業規格Ａ列４番

事業所番号	200700

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（Ａ、Ｂテナント等事業所用）　A事業所(2)

３　事業所の温室効果ガス排出量

（１）原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー使用量(kL)	計画期間				
	令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
	2,105	2,116			

（２）計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO_2換算（ｔ-CO_2）

		基準	計画期間				
			令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
エネルギー起源CO_2			4,282	4,291			
	前年度比（％）		―	0.2			
	基準となる排出量に対する削減率（％）						
その他ガス	非エネルギー起源CO2						
	メタン						
	一酸化二窒素						
	ハイドロフルオロカーボン						
	パーフルオロカーボン						
	六ふっ化いおう						
	三ふっ化窒素						
温室効果ガスの合計			4,282	4,291			

（３）計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO_2）

CO_2換算（ｔ-CO_2/指標）

		基準	計画期間				
			令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
エネルギー起源CO_2排出量原単位		0.3108	0.2511	0.2631			
	前年度比（％）		―	4.8			
	基準となる原単位に対する削減率（％）		19.2	15.3			
活動規模の指標		単位	17,053.00	16,308.04			
流入量		千m^3/年					

事業所番号	200700

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（Ａ、Ｂテナント等事業所用）　A事業所(3)

（４）エネルギー起源CO_2排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和２年度 (2020年度)	・A重油については、令和2年度については台風等大雨が降らず、大谷川雨水ポンプ場等の稼働時間が令和元年度と比較して大幅に減少していることから、A重油の使用量も減少している。 ・灯油については、石井水処理センター汚泥焼却炉の不具合により稼働時間が大幅に減少していることから、灯油使用量も減少している。
令和３年度 (2021年度)	・軽油、Ａ重油については、それぞれ該当燃料を使用する雨水排水機場の稼働が少なかったことから使用量も過年度に比べて低い水準となった。 ・灯油については、令和２年度に引き続き、石井水処理センター汚泥焼却炉の不具合により、稼働時間が短くなったことから、過年度に比べて使用量が減少した。 ・天候等の影響により、当組合におけるCO2排出の主要因である電気使用量が微増したことから排出量全体についても微増となった。
令和４年度 (2022年度)	
令和５年度 (2023年度)	
令和６年度 (2024年度)	

日本産業規格Ａ列４番

事業所番号	200700

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）　　A事業所(4)

4　温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

Ｎｏ	対策の区分			対策概要	実施予定年度	実施した年度	推計削減量(t)（1年度当たり）
	区分番号	区分名称					
		大区分	中区分				
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	地球温暖化対策に関する推進組織の整備（地球温暖化対策実行計画）（第3計画期間継続中）	R1以前	R1以前	
2	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	夏季及び冬季におけるエアコンの運転時間及び適正な室内温度を順守する（第3計画期間継続中）	R1以前	R1以前	
3	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	パソコン等を使用していない時は電源を切るように努める（第3計画期間継続中）	R1以前	R1以前	
4	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	遠心脱水機の更新	R1以前	R1以前	
5	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	汚泥焼却炉の連続運転に伴う燃料（灯油）の削減（第3計画期間継続中）	R1以前	R1以前	
6	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	送風量の適正化に伴う送風機の電気使用量の削減（第3計画期間継続中）	R1以前	R1以前	
7	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	エアコンの更新	R1以前	R1以前	
8	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	照明をLEDに変更	R1以前	R1以前	
9							
10							

日本産業規格Ａ列４番

事業所番号	200700

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（Ａ、Ｂテナント等事業所用）　A事業所(5)

５　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

Ａ事業所

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

◇節電対策等の実施
特に夏季（６月～９月）と冬季（１２月～３月）にかけて対策を実施。
①空調機器
・エアコン設定温度は冷房２８℃以上、暖房２０℃以下とした。
・夏季にはクールビズ（ネクタイ・上着なし）、冬季にはウォームビズ（重ね着・膝掛け等の使用）を励行し、就業期間中の冷暖房に創意工夫した。
・一部の緑化カーテンの採用
②照明機器
・事務室、廊下等の証明は必要最小限度の使用に留めた。
・不要な照明の間引きを実施した。
・昼休みの不要な照明の消灯を行った。
③ＯＡ機器
・離籍、終業時の電源オフを徹底した。
④節電等対策の周知
・クールビズ及びウォームビズの貼り紙等での協力の呼びかけを行った。
⑤公用車
・不要なアイドリングを行わず、エコドライブを心掛けた。
・乗り合いを心掛け、効率的な使用に努めた。
⑥その他
・節水を心掛けた。